

「地域課題解決プロボノ活用」企画・運営業務

(2021年6月1日～2022年3月31日)

【報告書】

2022年3月



特定非営利活動法人 コラウェイク

COLLAWAKE

コラボレーションを楽しもう♪

目次

第1章. 当事業の背景・目的（与件の整理）	2
第2章. 開始までの流れ	3
(1) 地域団体の選定	3
(2) 全体企画・調整	3
(3) プロジェクト骨子の作成	3
(4) プロボノ募集・説明会	4
(5) プロボノ選考（マッチング）・顔合わせ	5
第3章. 協働まちづくり（プロボノ・プロジェクト）の実施	7
(1) 協働まちづくり @南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック（遠見塚）	7
1. プロジェクトメンバー・運営体制	7
2. プロジェクトの目的・プロジェクト名	7
3. 取り組み内容・成果物	8
(2) 協働まちづくり @住吉台地区社会福祉協議会	9
1. プロジェクトメンバー・運営体制	9
2. プロジェクトの目的・プロジェクト名	9
3. 取り組み内容・成果物	10
(3) 活動スケジュール（遠見塚地区・住吉台地区）	10
(4) プロボノの導入効果	14
1. 南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック（遠見塚）	14
2. 住吉台地区社会福祉協議会	14
(5) 参加者の声・アンケート結果	16
1. 満足度が上がる/下がるポイント	16
2. アンケート結果	17
3. 気づき・改善点	20
第4章：「協働まちづくり」のロールモデルとしての検証	22
(1) ロールモデルとしての有効性	22
(2) まちづくりにおける「プロボノ協働」の有効性	22
(3) 横展開の可能性	23
(4) ロールモデルの提案	24

参考資料：A.プロボノ募集チラシ、B.プロボノ候補者向け説明会のスライド

第 1 章. 当事業の背景・目的（与件の整理）

■ 地域団体と市民の現状

少子高齢社会とデジタル化が進む中、地域・社会課題に取り組む地域団体は、担い手やノウハウが不足してきており、複雑・多様化する地域課題に対応することが困難になってきている現状がある。

一方、働き方改革、テレワークの普及、SDGs への興味関心の高まり等を背景に、余暇を活用した副業や、スキルや経験を活かした社会貢献のボランティア活動をしたい市民が増えてきている。

■ 両者のニーズが合う可能性

「地域課題の解決のために、外部の力を必要としている地域団体」と、「普段の所属を超えて社会貢献活動やキャリア形成をしたい市民（社会人・学生等）」のニーズがマッチングし、両者が協働できる可能性がある。また、家庭に入っているが、キャリアを中断させたくない主婦（夫）や、社会復帰に備えた実務や社会貢献のボランティアをしたい主婦（夫）もいる可能性がある。

■ マッチング上の課題

ここで課題となるのが、地域団体と個人がどう出会い、協働していくのかということである。

現状では、両者にニーズがあっても、自力で出会うことは難しく、多様な主体の参画を促すしくみの構築を行う必要がある。

また、両者の協働が円滑に進み、活動成果を生んでいくためのしくみやノウハウも大切となってくる。

■ 当事業の目的

そこで、①市民による地域活動や社会貢献活動への参画を後押しするとともに、市民のノウハウやスキルを地域団体の支援につなげる仕組みを構築すること、②多様な主体による協働を円滑に進め、活動の成果を生むためのポイントを見出し、次の協働に活かせるようにすることを目的とし、当事業を企画・実施する運びとなった。

■ 実施形態

当事業は、課題を抱える地域団体に、専門的なノウハウや各種スキルを持った市民等が「プロボノ」（仕事で培ったスキル・経験を活かして社会貢献のボランティアをする人）として関わり、その課題解決を後押しするものである。実施にあたっては、プロボノの受け入れ先である「地域団体」と「プロボノ」のマッチング及び協働を特定非営利活動法人 COLLAWAKE がコーディネートし、併走サポートを行った。

■ 目指す事業成果

- ①新たなコミュニティやまちづくりの主体、協働パートナーの形成
 - ②外部からの専門的なスキルやノウハウを取り入れることによる協働まちづくりの推進
 - ③複雑・多様化する地域課題解決に資するロールモデルの構築・検証
- つまりは、地域内外の連携の広がりからなる、持続可能な地域づくりモデルの構築と効果検証である。

第2章. 開始までの流れ

(1) 地域団体の選定

今回は、公募制ではなく、仙台市社会福祉協議会と相談しながら、受け入れ先となる地域団体の選定を行った。

仙台市で初めての試みであることや、外部から知らない人が入ってきても活動が滞らないこと等に配慮し、地域住民の連帯が強く、地域での活動歴が比較的長くて安定している地域団体の中から、「南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック（遠見塚）」（以下、遠見塚地区）と「住吉台地区社会福祉協議会」（以下、住吉台地区）が選定された。

いずれも、町内会連合と結びついており、構成員は地域住民の方々と、町内会の役員・メンバー、民生委員、福祉委員の方々である（役職は、兼務されている方も多い）。

(2) 全体企画・調整（6月）

仙台市市民局市民協働推進課の担当者と業務のアウトラインや当プロジェクトの狙い、全体的なスケジュール等について話し合い、要点を整理した。

(3) プロジェクト骨子の作成（6月）

各地域団体の事務所に伺い、構成員の方々から課題やニーズをヒアリングし、相談しながらプロジェクトの骨子をつくっていった。

仙台市市民局市民協働推進課の担当者や、普段から各地域団体と一緒に活動をしている、社会福祉協議会や地域包括支援センターの担当職員とも話し合いながら骨子をつくっていった。

ミーティングにおいては、社会福祉協議会や地域包括支援センターの担当職員が、地域団体との間に入ることで、より円滑なコミュニケーションが可能になった。

プロジェクトの運営体制、テーマ、主な取り組み内容、参加して欲しいプロボノ像（経験、スキル、姿勢等）について話し合いながら決定していった。



地域団体（遠見塚地区）との打ち合わせ
（6月17日、6月28日）



地域団体（住吉台地区）との打ち合わせ
（6月23日）

(4) プロボノ募集・説明会

<プロボノ募集> (7月)

プロジェクトの内容から、募集したいプロボノ像（経験、スキル、姿勢等）を明確にし、プロジェクトの目的・内容、やりがいとともチラシ（※参考資料 A）や COLLAWAKE（コラウェイク）の Facebook、プロボノ登録者・知り合いへの声かけ、仙台市からのプレスリリースや市政だより等で募集を行った。

プロボノに興味のある方に、まずは説明会に申し込んでいただき、説明を聞いた上で参加するかどうかを決めていただいた。なお、説明会への申し込みはオンライン形式（みやぎ電子申請サービス）を利用した。

<プロボノ候補者向け説明会> (8月) (※参考資料 B)

説明会は、参加できる人を増やすため、曜日を変えて 2 回実施した。また、下記の理由により、地域団体の方にも参加いただいて自らお話しいただいた。

【理由】

- ・コーディネーターからではなく、地域団体の方から直接お話しいただいた方が、プロボノ候補者が受け入れ先の地域団体・メンバーについて理解しやすく、参加の可否を考えやすくなり、マッチングの精度も上がる。
- ・地域団体の方にも、プロジェクトの趣旨や内容を自分ごとに落とし込んでお話しいただくことで、心の準備も含め、協働プロジェクトに備えていただく。また、「プロボノって何？」の状態から始まっているので、プロボノ候補者に会っていただくことで、プロボノを身近に感じていただく。

地域団体の方は現地事務所から、プロボノに興味がある方はオンライン（Zoom）から参加いただき、現地とオンラインを併用して実施した。

COLLAWAKE のコーディネーター（以下、コーディネーター）の方からは、当事業やプロボノとは何かについてや、協働まちづくりプロジェクトの全体スケジュール、運営体制について説明を行った。

また、各地域団体の方々からは、地域の特長、町内会活動のテーマ・内容、課題、当プロジェクトの目的・内容等について自らの声でお話しいただいた。

なお、当プロジェクトに、当該地域で活動されている社会福祉協議会と地域包括支援センターの担当職員の方も参加いただけることとなったが、同様に最初が大事なため、説明会から参加いただいた。

【説明会の実施】

- ・第 1 回目実施：8 月 6 日 19:00～20:30 @Zoom と現地の併用
- ・第 2 回目実施：8 月 12 日 19:00～20:30 @Zoom と現地の併用

(5) プロボノ選考（マッチング）・顔合わせ

＜プロボノの選考＞（8月）

説明会で話を聞いた上で、プロボノとして参加されたい方に、「プロボノ参加申込」をいただいた。この「プロボノ参加申込」は、どちらのプロジェクトに参加したいか、スキル・経験登録、約束事の遵守の確認を含むもので、オンラインのフォームで応募いただいた。

このフォームから得たプロボノ候補者の情報を基に、仙台市市民局市民協働推進課の担当職員とコーディネーターで最低限の事前選考と2つの地域団体へのチーム分けを行った（8月18日）。

市民に広く参加いただくのが趣旨であるのと、応募理由がしっかりされていたことにより、応募者全員を選ばせていただいた。チーム分けも、本人の希望を優先して行った。

その上で、地域団体の方々に、プロボノ候補者のリストを見ていただき、最終決定をいただいた。

両地域とも、「地域に寄り添う気持ちがあればどなたもウェルカム」な姿勢で、応募者全員がマッチングすることとなった。

プロボノ候補者に選考結果についてお伝えし、今後の流れや活動に必要な対応についてご案内を行った。

＜協働のための環境づくり＞（8月）

【コミュニケーション】

プロボノ同士及びコーディネーターとのやり取りは、早くて便利な SNS を使うことにした。各地域ごとに、プロボノとコーディネーターのメッセージンググループを作成し、全員に登録いただいた。

Facebook にアカウントがない方も数名いたが、趣旨を説明したところ賛同いただけたので、メッセージンググループで運用することにし、アカウントの取得もサポートを行った。

なお、数ある SNS の中でメッセージンググループを選択した理由は、使い方が簡単なことに加え、誰が既読かが一目で分かり、1 人も取りこぼせないプロジェクト運営にとって便利だからである（既読にならない人には速攻でサポートを入れなくてはならない）。

【資料の共有】

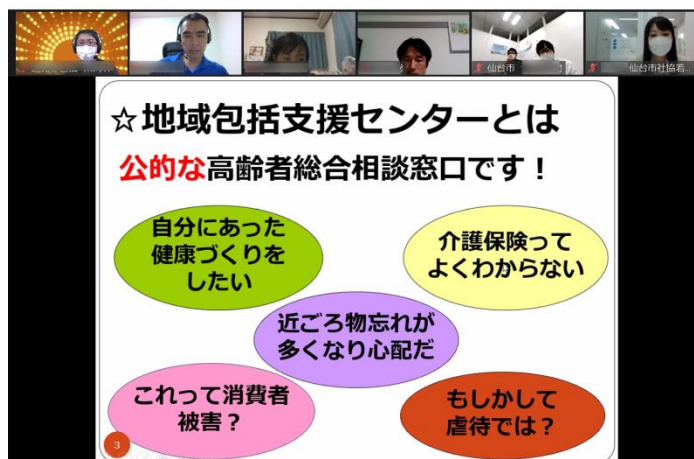
資料の共有に関しては、SNS だと情報が流れて探すのが不便であること、保存先が各自の媒体になって散らかるのを防ぎたいこと、全員が同じものを見て作業できるようになること、普段の PC 操作や資料作成と同じ方法で使えること等を考慮し、プロボノ向けとしては Dropbox を使用することにした。

各地域ごとにフォルダを作成し、アカウント取得を含め、全員の参加をサポートした。なお、Dropbox のアカウントを元から持っている人が多かった。

<ガイダンスの実施>（8月）

遠見塚地区に関しては、活動時に協働する団体が多いため、プロボノが町内会の方々と会う前に各団体のことを理解できるようガイダンスを実施した。

各地域団体（仙台市市民局市民協働推進課、町内会、社会福祉協議会、地域包括支援センター）から目的、活動内容等について説明を行っていただき、質疑応答で理解を深めた。



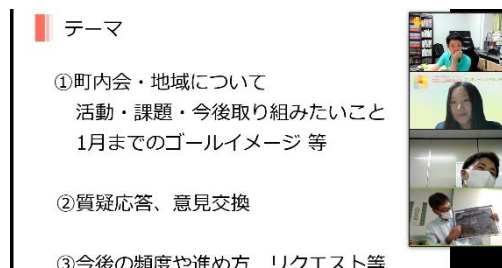
遠見塚地区ガイダンス（現地・オンライン併用）
（8月31日 参加人数：13名）

<顔合わせ（キックオフ）>（9月）

本格的に協働まちづくりのプロジェクトに入る前に、地域団体ごとに、現地とオンラインの併用にて、プロボノと地域団体側の顔合わせ会（キックオフミーティング）を実施した。



遠見塚地区：9月14日 参加人数：21名



住吉台地区：9月29日 参加人数：15名

<その他>

仙台市市民局市民協働推進課の担当職員とコーディネーターで、遠見塚地区のキックオフの振り返りと、住吉台地区とのキックオフの準備、今後のプロジェクト運営について話し合いを行った。

（9月21日）

第3章. 協働まちづくり（プロボノ・プロジェクト）の実施（10月～1月）

（1）協働まちづくり @南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック（遠見塚）

1. プロジェクトメンバー・運営体制

<プロジェクトメンバー>

【地域団体】

- プロボノの受入団体：南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック（遠見塚）6名
- サポートでの参加
 - ・仙台市社会福祉協議会若林区事務所 2名
 - ・遠見塚地域包括支援センター 2名

【プロボノ】社会人5名（県内4名・県外1名、20代～40代）

【主催】仙台市 市民局 市民協働推進課 2名

【コーディネート機関（事務局）】特定非営利活動法人 COLLAWAKE（コラウェイク）2名

<運営体制>



<実施場所>

現地（南小泉地区町内連合会 事務所）とオンライン（Zoom）を併用。

なお、オンライン会議の準備に関し、地域包括支援センターの職員の方にサポートいただいた。

2. プロジェクトの目的・プロジェクト名

地域団体の主な課題が、「コロナ禍で停滞したサロン活動の活性化」、「新たな参加者・子育て層の巻き込み」、「広報 PR 強化」であるため、プロジェクトの目的は、「安心安全なまちづくりに向けた持続可能なしくみ・人づくり」と設定した。

また、プロジェクト名は、「誰もが住みやすい、安心安全のまちづくりプロジェクト！～コミュニティ活性化のプランをつくり、集客力を上げよう～」とした。

3. 取り組み内容・成果物

コミュニティ活性化に繋がる活動として、遠見塚地区で複数の町内会が連携して運営しており、力を入れている「遠見塚香香（シャンシャン）体操・サロンの部」の活性化を中心に取り組んだ。

遠見塚香香（シャンシャン）体操・サロンの部は、介護予防を目的とした体操の部と、その後すぐに催されるサロンの部から成り、参加を楽しみにしている地域の高齢者も多い。コロナ禍により、サロンの部は休止している（2022年3月現在）。



香香（シャンシャン）体操

	取り組み内容	成果物
調査	○アンケート・インタビュー調査の実施 （「常連さん」、「1・2回で来なくなった人」の2種類） 【目的】参加者のニーズを知り、イベント企画や広報に活かす	・アンケートシート ・インタビューシート ・アンケート&インタビュー結果のまとめと考察
企画	○香香（シャンシャン）体操・サロンの部のイベント企画 ・高齢者向け（香香体操の参加者がそのまま参加） ・親子も楽しめるもの 【目的】より楽しんでいただく。リピーターや参加者を増やす	・イベントアイデア集
広報	○「遠見塚香香体操サロンだより」（参加者に渡すチラシ）の改善 ○「遠見塚香香（シャンシャン）体操のしおり」（活動PR・集客用）の作成 【目的】広報を強化し、リピーターや参加者を増やす	・遠見塚香香体操サロンだよりの改善アイデア ・遠見塚香香体操のしおり

【アンケート・インタビューの実施】



(2) 協働まちづくり @住吉台地区社会福祉協議会

1. プロジェクトメンバー・運営体制

<プロジェクトメンバー>

【地域団体】

○プロボノの受入団体：住吉台地区社会福祉協議会 4名

○サポートでの参加

・根白石地域包括支援センター 6名

【プロボノ】社会人 6名（県内2名・県外4名、20代～60代）

【主催】仙台市 市民局 市民協働推進課 2名

【コーディネート機関（事務局）】特定非営利活動法人 COLLAWAKE（コラウェイク）2名

<運営体制>



<実施場所>

現地（根白石地域包括支援センター 会議室）とオンライン（Zoom）を併用。

なお、オンライン会議の準備に関し、地域包括支援センターの職員の方にサポートいただいた。

2. プロジェクトの目的・プロジェクト名

地域団体の主な課題が、「更なる高齢化に備えた地域住民の不安・ニーズの明確化」、「地域力の強化のための実行プランニング」であるため、プロジェクトの目的は、「今後の超高齢社会に備えた、笑顔あふれるまちづくり」と設定した。

また、プロジェクト名は、「高齢化もなんのその。笑顔あふれるまちづくりプロジェクト！～多世代のニーズを知り、持続可能な実行プランを考えよう～」とした。

3. 取り組み内容・成果物

笑顔あふれるまちづくりに向け、地域住民の不安・ニーズを知るために、住民アンケートの作成を中心に取り組んだ。アンケートを補完するために、子育て世代の女性と小中学校の校長先生にインタビューを行った。また、インタビュー内容から触発され、地域コミュニティ施設の事例リサーチも行った。

	取り組み内容	成果物
アンケート	○住民アンケートの作成、パイロット実施（合意形成） 【目的】住民の課題・ニーズを洗い出す ○解析フォーマットの作成 【目的】アンケート結果をまとめやすくする	・住民向けアンケート用紙 ・解析フォーマット
インタビュー	○子育て世代の女性へのインタビュー 【目的】アンケートだけでは捉えられない本音を聞く 高齢者以外の方の課題・ニーズを知る ○小中学校の校長先生へのインタビュー 【目的】住民とは違った視点から、まちの強み・課題を知る	・住民向けインタビューシート ・校長先生向けインタビューシート ・住民/校長先生インタビュー報告書
事例調査	○地域のコミュニティ施設 事例リサーチ ・図書館、空き教室、廃校の活用 【目的】「若年層から高齢者まで世代を超えて交流できる場づくり」「学生向けの勉強スペース」等の解決のヒントになるような事例を探し、今後の参考にする	・事例リサーチ集

【住民インタビューの実施】



【校長先生インタビューの実施】



(3) 活動スケジュール（遠見塚地区・住吉台地区）

各地域ごとに、「ミーティングでの話し合い・意思決定」と「個別ワーク」を繰り返しながらプロジェクトを進めていった。また、ミーティングは、下記の2種類を交互に実施した。

【全体ミーティング】地域団体、プロボノ、仙台市、コーディネーターの全員が参加するミーティング。

【プロボノ・ミーティング】プロボノとコーディネーターのみが参加するミーティング。場合により、仙台市の担当職員も参加。

なお、コーディネーターは、プロジェクト期間中、ミーティングの設定・準備、議事進行、議事録の作成、アフタフォローを行った。各ミーティングの間には、プロボノと地域団体の取り組みが円滑に進むようサポートを行った。また、自社の Facebook にて、当プロジェクトの中身と進捗について随時発信した。

10月**<プロジェクト・ミーティング>**

【全体ミーティング】対面とオンライン（Zoom）を併用

地域	実施日	時間	参加人数
遠見塚地区	10月5日	19:15～20:30	18名
	10月26日	19:15～20:30	18名
住吉台地区	10月20日	19:15～20:45	16名

【プロボノ・ミーティング】オンライン（Zoom）で実施

地域	実施日	時間	参加人数
遠見塚地区	10月4日	19:30～21:00	7名
	10月19日	19:30～20:45	7名
住吉台地区	10月12日	19:00～20:30	5名
	10月29日	19:30～20:45	6名

<ミーティング以外でのコミュニケーション>

- ・遠見塚地区：地域団体（社協・包括含む）、プロボノ、コーディネーターから成るLINEグループを作成した。ミーティング以外でもやり取りができるようにし、プロジェクト終了まで活用した。
- ・住吉台地区：LINEを使っていない方もいたので、メールで、地域団体（包括含む）、プロボノ、コーディネーターがやり取りできるようにし、プロジェクト終了まで活用した。

11月**<仙台市とコーディネーターの打ち合わせ>**（11月25日）。

プロボノや地域団体への対応、今後のプロジェクト運営や方向性等について話し合いを行った。

<プロジェクト・ミーティング>

【全体ミーティング】対面とオンライン（Zoom）を併用

地域	実施日	時間	参加人数
遠見塚地区	11月23日	19:15～20:30	18名
住吉台地区	11月9日	19:15～20:30	15名
	11月29日	19:15～20:30	18名

【プロボノ・ミーティング】オンライン（Zoom）で実施

地域	実施日	時間	参加人数
遠見塚地区	11月11日	19:15～20:45	5名
	11月30日	19:15～20:45	7名
住吉台地区	11月16日	19:15～20:45	6名

12月

<プロジェクト・ミーティング>

【全体ミーティング】対面とオンライン（Zoom）を併用

地域	実施日	時間	参加人数
遠見塚地区	12月6日	19:15～20:45	18名
	12月23日	19:15～20:45	18名
住吉台地区	12月22日	19:15～20:45	14名

【プロボノ・ミーティング】オンライン（Zoom）で実施

地域	実施日	時間	参加人数
遠見塚地区	12月14日	19:15～20:45	6名
住吉台地区	12月8日	19:15～20:45	10名

<コーディネーターによる、プロボノ活動（現地）への付き添い>

- ・住吉台地区：12月14日 14:00～16:00 校長先生インタビューに付き添い。
- ・遠見塚地区：12月16日 13:00～15:00 香香体操でのアンケート調査に付き添い。

1月 プロジェクト期間：1月31日まで

<プロジェクト・ミーティング>

【全体ミーティング】対面とオンライン（Zoom）を併用

地域	実施日	時間	参加人数
遠見塚地区	1月12日	19:15～20:45	16名
	1月28日	19:15～20:30	17名
住吉台地区	1月11日	19:15～20:45	17名
	1月26日	19:15～20:30	18名

両地域とも、最終日は成果物の振り返りを行い、これまでの協働と健闘を讃え合って終了した。

<成果物の納品>

2つの地域団体と仙台市担当課に対し、プロボノが作成した資料（成果物）をデータ納品した。

2月

<アンケートの実施>2月初旬～2月18日

プロボノ、地域団体のメンバー（南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック、住吉台地区社会福祉協議会）、仙台市社会福祉協議会若林区事務所・遠見塚地域包括支援センター・根白石地域包括支援センターの担当職員にアンケートを実施した。

<振り返り会（成果報告会）> 2月22日 19:30～21:30（参加9名、Zoomで実施）
 2地域（遠見塚地区・住吉台地区）合同でプロボノとコーディネーターで振り返り会を実施した。
 コーディネーターは、振り返り会の企画・準備、スライド作成のサポート、議事進行、議事録の作成、
 アフタフォローを行った。また、振り返り会用に作成したスライド資料を各地域団体にも送付した。

=全体ミーティングの様子=

【遠見塚地区】



【住吉台地区】



=プロボノ・ミーティングの様子=

【遠見塚地区】

キックオフを踏まえた課題の整理

『しゃんしゃん体操サロン』を見直す必要性・課題

- 【前回のヒアリングの要点】
- ・参加者数の減少（特にブロック内）と高齢化。
 - ・場所の変更により、参加できなくなった人が少なくない。
 - ・コロナの影響により、企画自体が縮小せざるを得ない。

プロボノ支援の方向性

- ・参加者数の増加
 - ・参加者層の拡大
- ⇒ 地域活動の活性化支援



【住吉台地区】



=振り返り会（2地域合同）の様子=

①B. 解析フォーマットの作成 1/2

【目的】

- ・町内会の皆さんが適切に町内の現状を把握できるようにサポート
- ・調査結果から簡単に次のアクションへのキックアップ

【取り組んだこと】

町内会への意識調査、暮らしに関するお困りごとの現状把握のための解析フォーマットの作成



④サロンの部 イベント企画 2/2

【工夫したことや気づいたこと】

- ・参加者が無理なく楽しめるような内容にする。
- ・実行委員の皆さんの意見を尊重し調整する。
- ・持続可能な企画案にする。
- ・コロナ禍でも実施可能な企画も発案する。

【成果物】

イベントアイデア集（画面共有）

【感想・気づき】

- ・新しいアイデアをまとめることで今後の地域活動に活用できると喜んでいただけたのは良かった。
- ・参加者の皆さんは体を動かすこと、コミュニティに参加したいという気持ちがあり、地域には皆さんの元気な高齢者が活動していることを知った。



(4) プロボノの導入効果

1. 南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック（遠見塚）

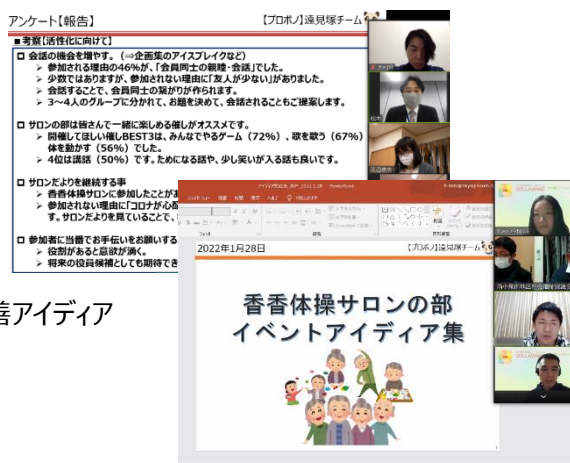
地域団体とプロボノの協働により、下記の成果物が完成した。

たたき台はプロボノが地域団体から現状・課題を聞きながら作成し、ミーティングで意見交換しながら完成させていった。

アンケートとインタビューで調査し、また、全体ミーティングや LINE グループを通じて一緒に作成していったので、地域団体の方々の現状・ニーズを反映した、実用性の高いものに仕上げることができた。

【成果物】

- ・アンケートシート（2種類）
- ・インタビューシート
- ・アンケート結果のまとめ・考察
- ・インタビュー結果のまとめ・考察
- ・イベントアイデア集
- ・香香（シャンシャン）体操サロンだよりの改善アイデア
- ・遠見塚香香体操のしおり



【導入効果】（いただいた声・アンケートより）

- ・若手との交流で新しい風が入り、現場の熱量が上がった。
- ・内輪だけのディスカッションでは気づけない所に気が付くことができた。
- ・自分たちでは作成できなかった成果物ができた。特に、増員のための「しおり」はありがたい。企画案も、自分たちで実施しやすいものができた。
- ・プロボノが遠見塚香香体操に参加したことで、現場の方も活性化した。体操の参加者の方も、プロボノ（20代～40代）とお話していて楽しそうだった。
- ・プロボノの方々が現場でアンケートを取ったことで、よりよい活動にするために運営側が動いていることが参加者にも伝わってよかった。新しい試みに期待してくれているようで嬉しい。
- ・プロボノとの交流を通して、若い世代への期待や関心が高まった。
- ・オンライン会議や LINE グループの活用など、新しいことができるようになった。

2. 住吉台地区社会福祉協議会

地域団体とプロボノの協働により、下記の成果物が完成した。

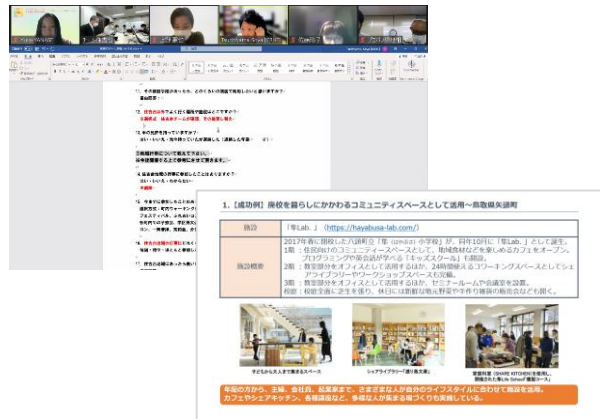
たたき台はプロボノが地域団体から現状・課題を聞きながら作成し、ミーティングで意見交換しながら完成させていった。

当初、住民向けアンケートは、作成に加えて実施・結果分析まで行う予定であったが、作成までに変更となった。円滑に実施し、結果をふまえて施策をつくって実行していくにあたり、アンケートの作成自体を、関係者と丁寧に関意形成しながら進めていくこととした。

地域団体の方に加え、その背後におられる、町内会連合の役員の方々にも添削いただきながら作成したので、地域団体の現状・ニーズを反映した、等身大のアンケートに仕上げることができた。

【成果物】

- ・住民向けアンケート/解析フォーマット
- ・住民向けインタビューシート
- ・校長先生向けインタビューシート
- ・住民向けインタビューの報告書
- ・校長先生向けインタビューの報告書
- ・地域のコミュニティ施設 事例リサーチ集



【導入効果】（いただいた声・アンケートより）

- ・様々な職業の方との意見交換で考え方の幅が広がった。
また、インタビュー形式等、新しい方法に気づくことができた。
- ・地域以外の方から、住吉台地域がどのように見られているかを知ることができた。
- ・これまで漠然としていたアンケート内容が目に見える形となった。
- ・高齢者以外の世代の課題が見えた。
- ・地域のコミュニティ施設に関し、他の地域の事例を知ることができた。
- ・プロジェクトが終わった後の活動も進めやすくなった。
自主的に解析フォーマットまで作成いただき、アンケートを実施した後の集計を進めやすくなった。
- ・オンライン会議を導入し、遠隔の方にも参加いただけるようになった。

<まとめ>（遠見塚・住吉台地区に共通すること）

有効性	内容
団体・メンバーの活性化	・外部人材を受け入れたことで、団体が活性化し、活動の熱量が上がった。 ・若手とのやり取りや仕事ぶりから刺激を受け、活動への意欲が増した。
新たな気づき	・新しい風が入り、内輪で気付かない気づきや視点を得た。
運営・組織の強化	・プロボノの期待に応じて取り組みを進めるため、運営に気合が入った。 ・プロボノからのニーズヒアリングや問いかけに対し、内部で意見交換することでお互いの理解が深まり、結束が強くなった。
やりたかったことの実現	・人手不足やノウハウ不足でなかなかできなかったことに着手し、進めることができた。
スピードアップ	・人手とノウハウがあることで、やりたかったことがスピードアップした。
ノウハウ移転	・プロボノの取り組みや会議の進め方から、今後の活動に活かせることを学ぶことができた。オンライン会議にも対応できるようになった。
担い手の獲得	・プロボノの若手層が町内会活動に触れて理解が進み、興味を持つようになった（当初、町内会活動のことを知らないプロボノがほとんどだった）。 ・町内会の重要性に気づき、今からや、少し落ち着いた後、町内会に参加すると複数のプロボノが表明した。

(5) 参加者の声・アンケート結果

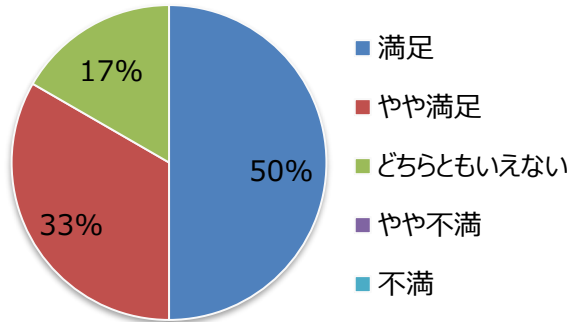
1. 満足度が上がる/下がるポイント

参加者	満足度が上がるポイント	満足度が下がるポイント
地域団体 (受入先)	<ul style="list-style-type: none"> ・プロボノやコーディネーターが地域の事情や住民の気持ちに寄り添って活動してくれる。 ・新しい意見、視点に触れられる。 ・やりたかった活動がしっかりと進む。 ・自分たちに合った成果物が出来上がる。 ・成果物のクオリティが高い。 ・コーディネーターが、プロジェクトの進捗サポートや参加者間の調整を適切に行ってくれる。 ・仙台市が地域のニーズを吸い上げて次のステップに繋げてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト期間が、町内会活動が忙しい時期と被る（年度末等）。 ・ミーティングの時間帯が遅い。（理由は理解でき、許容できる）。 ・想定外の負担や出費が生じる。 ・町内会のことをコーディネーターやプロボノがよく分かっていない。 ・オンラインの場合、顔と名前が一致しにくい・理解に時間がかかる。 ・特にオンラインの場合、認識がズレた時、調整に手間がかかる。 ・自助公助の、公助の部分で仙台市が動いてくれない。
社会福祉協議会・ 地域包括支援 センター (サポートの立場)	<ul style="list-style-type: none"> ・プロボノが現地に来て交流してくれ、現場が活性化する。 ・プロジェクト、ミーティング、成果物の作成のマネジメントやサポートがしっかりしている。 ・地域団体とプロボノの間で意見や認識のズレが生じた時に、コーディネーターが間に入って確認・調整を行う。 ・社協・包括でも活用できる成果物や企画ができあがる。 ・若手社会人を巻き込む方法で、今後の地域活動の参考になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの進行が円滑でない。（社協・包括の負担が大きくなる） ・地域住民の方の負担が大き感じる時や危険を感じる時。（例：夜の凍結した帰路） ・プロジェクト期間が短くて実行までに至らない。 ・市が管理する施設のネット環境の不整備。 ・コーディネーターでは担えない部分の地域との調整を仙台市が担わない。他、仙台市の役割が不明確。
プロボノ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体の方と会って交流できる。 ・地域団体の方から、意見・コメントがしっかりいただける。 ・他のプロボノと関係構築しながら、チームワークで活動ができる。 ・作成した成果物が地域の役に立つことが実感できる。 ・コーディネーターのサポートが的確。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの内容が変更になる時に、説明がしっかりなされない。 ・コーディネーターが、プロボノへのサポートや人間関係の調整を十分に行わない。 ・チームワークのルールを破る人が出て、雰囲気や人間関係が悪くなる。 ・ミーティング時間が延長になる。

2. アンケート結果

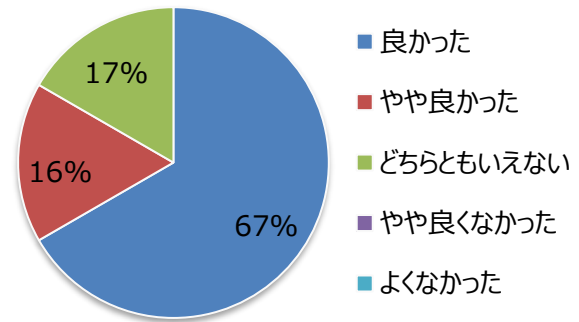
【受入団体】南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック（遠見塚）へのアンケート

プロジェクト全体への満足度（％）



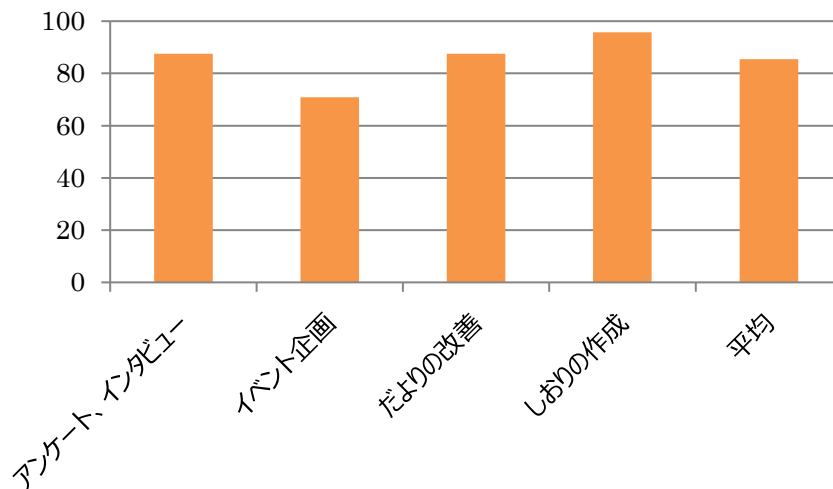
=「どちらともいえない」理由=
 ・開始時期が遅く、イベント案を実行に移す時間が足りなかった。

プロボノによる活動・働きについて

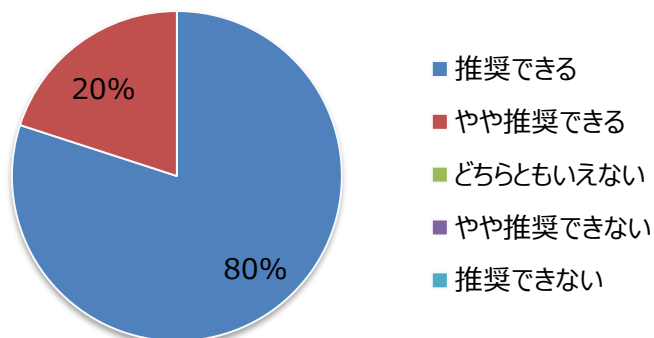


=「どちらともいえない」理由=
 ・仙台市、地域住民・単位町内会、連合町内会の関わりを理解した上の参加だとより良かった。

成果物への満足度（％）



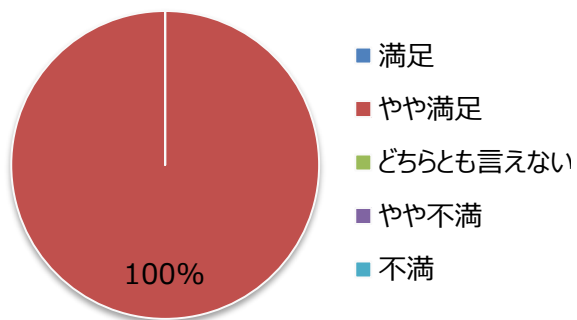
プロボノとの協働を、他の地域団体（町内会等）に対して推奨できるか



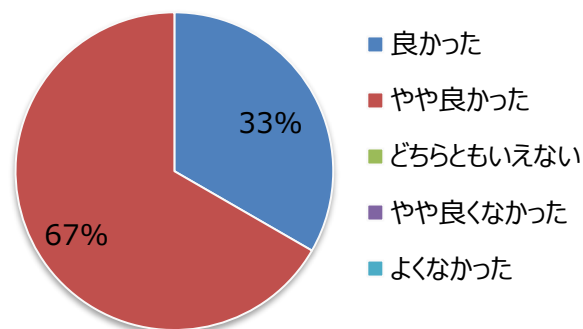
=「推奨できる」理由=
 ・町内会だけでは解決できない課題について成果が出ると励みになる。
 ・テーマをはっきりさせ、専門性を活かせる分野で大いに活用できる。
 ・「今までは～」でなく新しい考えが多くの人を取り込める。

【受入団体】住吉台地区社会福祉協議会へのアンケート

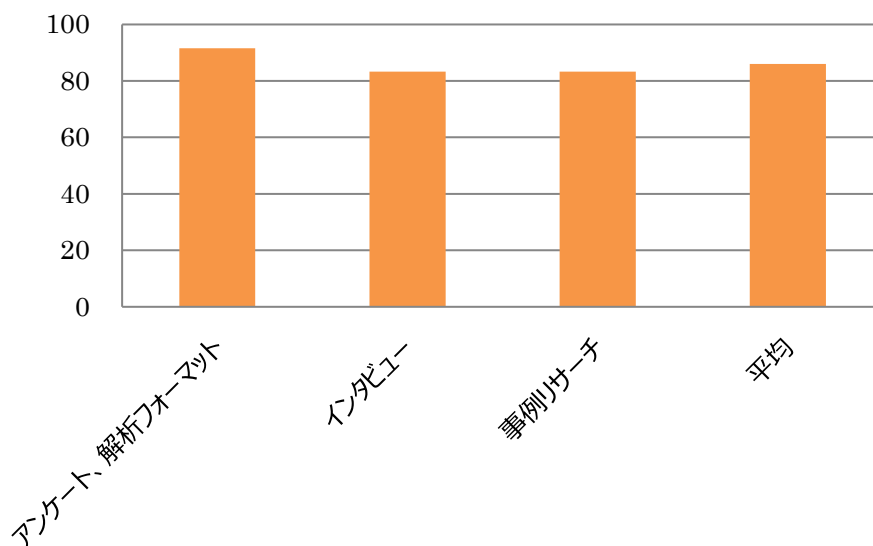
プロジェクト全体への満足度 (%)



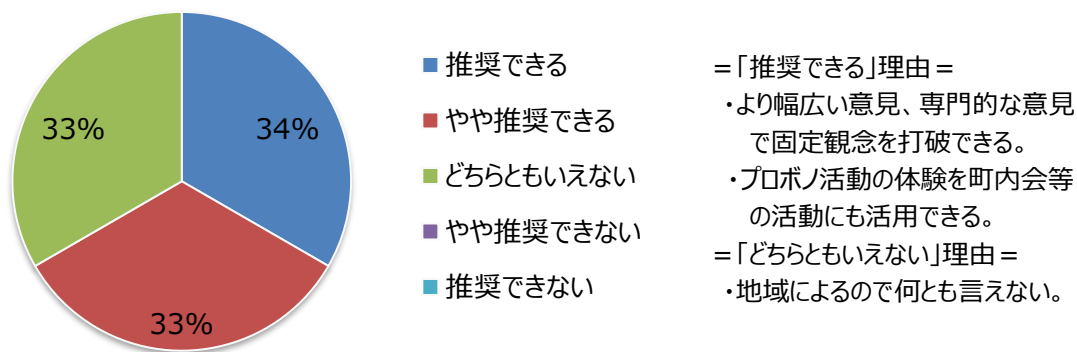
プロボノによる活動・働きについて



成果物への満足度 (%)

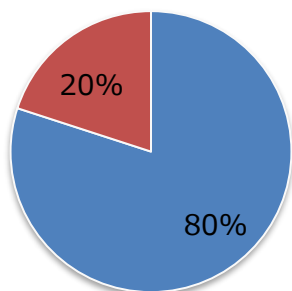


プロボノとの協働を、他の地域団体（町内会等）に対して推奨できるか



【プロボノへのアンケート】南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック（遠見塚）

地域団体等との協働について

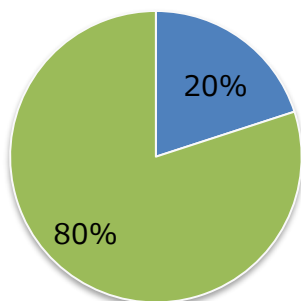


- 良かった
- やや良かった
- どちらともいえない
- やや良くなかった
- よくなかった

=「良かった」理由＝

- ・地域のために活動している方々と意見交換したり、地域活動の課題解決に向けて一緒に考えることができた。
- ・地域の方がどのような思いで活動されているか知ることができ、勉強になった。
- ・地域の方に喜んでいただけたのが嬉しい。

地域団体等と協働するプロボノ活動について、他の社会人の方に推奨できるか



- 推奨できる
- やや推奨できる
- どちらともいえない
- やや推奨できない
- 推奨できない

=「推奨できる」理由＝

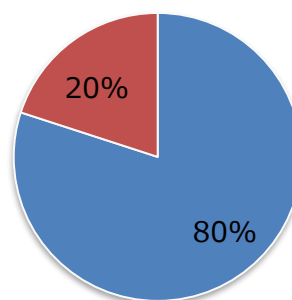
- ・やる気があれば、どのような方にもお勧め。
- ・キャリア・スキル不足の場合も、他者から学びながら取り組んでいける方に推奨できる。

=「どちらともいえない」理由＝

- ・地域活動を知れる点はよいが、会議以外に個別作業があり負担を感じた。
- ・人との「相性」が活動に大きく影響する。
- ・協働先を社協・包括さんにする手もある。

【プロボノへのアンケート】住吉台地区社会福祉協議会

地域団体等との協働について

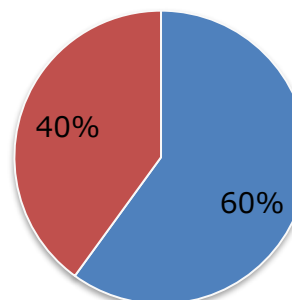


- 良かった
- やや良かった
- どちらともいえない
- やや良くなかった
- よくなかった

=「良かった」理由＝

- ・自分のエリア以外の地域の課題を知ることができた。
- ・地域の活性化は、地域団体の方の協働なしにはうまく進まないと感じた。
- ・地域住民の生活をより良くしていく主役である、地域団体の要望を聞きながらアクションを模索できたことが楽しかった。

地域団体等と協働するプロボノ活動について、他の社会人の方に推奨できるか



- 推奨できる
- やや推奨できる
- どちらともいえない
- やや推奨できない
- 推奨できない

=「推奨できる」理由＝

- ・20代・30代が参加し考えていくことで長いスパンで地域のことを考えられる。
- ・地域住民の生活をより良くしていきたいとの思いがある多様な方々と繋がる。
- ・自身のスキルを職場外で生かせ、相手への貢献とともに自身の成長もできる。

3. 気づき・改善点

【地域コーディネーター機関（事務局）】

- プロジェクトが始まる前に、当該地域の特徴やステークホルダーの全体像、各地域団体の種別・関係・活動内容・意思決定の方法・スピード感等についてしっかり理解しておく必要がある。コーディネーターが自力で収集できる情報には限りがあるため、市の担当課に協力を仰ぐ。
- 地域団体のことをよく理解した上で、地域団体、市と相談しながら、効果的かつ内容とスピードに無理のないプロジェクト設計を行う必要がある。
- コーディネーターは、プロジェクトが始まる前に、プロボノが、当該地域の特徴や地域団体の種別・活動内容についてできる限り把握できるよう、手厚いサポートを行う必要がある。プロボノ説明会や、プロジェクト開始前のガイダンスで説明するだけでは足りないため、プロジェクトが始まった後も、議題に上げたり勉強会を設けるなどしていく必要がある。
- プロジェクトが始まる前に、地域団体に対し、プロボノの多くが地域団体の組織構造や活動についてよく知らないことを伝えておく必要がある。事前に事務局から説明はするが、一緒に活動しながらお互いに理解していく部分が大きく、そのプロセスを楽しんでいただけるよう働きかける。
- プロジェクトを円滑に進めるため、コーディネーターの職能、役割をプロボノに理解いただく必要がある。プロボノ説明会や1回目のミーティングでの説明では足りないことが分かった。「協働まちづくりコーディネーター」という専門職でなく、事務職員と認識されていると動きにくい部分も生じたので、説明を丁寧に行う。
- 地域団体とプロボノがミーティング以外でやり取りできる SNS グループやメールでのやり取り等のしくみを約2か月後につくったが、もっと早く作り、コミュニケーションを促した方がよいと思われる。
- 地域団体の事情でプロジェクトに変更が出た場合は、プロボノへの説明を丁寧に行う。変更の背景やプラスの面を捉えて説明し、必要に応じ、地域団体との話し合いの機会を設ける。
- 参加条件である遵守事項を守らないプロボノが出た場合は、コーディネーターと市の担当で事実確認を行い、連携して対応する必要がある。また、対応の中味・プロセスを事前に市と握り合っておくことが大切である。なお、誓約書はプロボノがいつでもすぐに確認できるようにしておき、必要に応じて条項をリマインドし、問題が起きる前や、起きた後も速やかに対応できるようにする。

【仙台市 市民局市民協働推進課】

- 参加する前に、当プロジェクトへの関わり方・役割について明確にし、コーディネーター、地域団体に伝えておく必要がある。今回、全体ミーティングには全回参加し、プロボノ・ミーティングにも多く参加していたため、何のためにミーティングに参加しているのか、はっきりさせておくよかった。また、その主な理由がモニタリングやニーズ把握というのは、協働まちづくりにおいては十分ではなく、プロジェクトやプロジェクト終了後のまちづくりへの貢献が求められていることが分かった。
- コーディネーターが、事前に地域の特徴や地域団体のことについて情報収集をする際、普段から地域団体との関りが強い市の部署がサポートできるとよい。特に、現状では、協働まちづくりの専門的なコーディネーターはごく少ないため、市の役割が大きいと思われる。

- 「協働まちづくり」において、地域コーディネート機関は、仙台市が持っていないノウハウ・経験を活かして事業を請け負い、実施しているので、仙台市とは別のポジション・役割を担っていると認識すべきである。多様なアクターが、それぞれの特質を活かし合って活躍できることが「協働」の利点である。
- 現場のマネジメントを担っているのはコーディネーターであるが、地域のステークホルダーやプロボノの意向・活動を調整しながらプロジェクトの進捗管理をし、成果を出していくのはそれなりに負荷がかかる。コーディネーターが活動しやすい視点から、市としても協力できるとよい。
- 地域団体が希望するまちづくり公助の実行において、現状の縦割り方式では困難になっており、変革していく必要がある。

第4章：「協働まちづくり」のロールモデルとしての検証

(1) ロールモデルとしての有効性

ロールモデルの要素	有効性の考察
① 仙台市が主催 (発案、費用負担)	<ul style="list-style-type: none"> ・資金を含め、地域団体にはリソースが限られているので、市が企画し、費用面も含めて担えると、地域団体が導入しやすくなる。 ・まちづくりは市が担う部分も大きいので、この分野を市が支援するのは理にかなっている。 ⇒全体企画、費用面の支援、まちづくりの実働面で有効。
② 地域団体の活動に プロボノが参加	<ul style="list-style-type: none"> ・地域では担い手不足なため、外部から獲得するのは1つの手法である。 ・地域活性化に興味があり、社会貢献をしたい社会人も増えてきているので、マッチングの可能性も上がってきていると考えられる。 ・実際にマッチングし、協働を経て成果も出すことができた。 ⇒地域とプロボノのニーズがマッチし、チームの組み合わせとして有効。楽しく協働し、成果も出せたので、まちづくりの方法としても有効。
③ 地域団体とプロボノの 協働を、地域コーディネーター ネットワーク機関が併走 サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、地域団体とプロボノが自分たちで出会い、マッチングするのは困難であり、募集の時点で難しい団体も多いと思われる。 ・マッチングの精度を上げ、成果を生むにはプロジェクト制が有利だが、プロジェクト設計ができる地域団体は少ない。 ・外から人を獲得できても、地域団体でプロジェクトを回すのは困難だったり、負担が大きい。壁にぶつかり、途中で止まる可能性もある。 ⇒プロジェクト設計、プロボノ募集・マッチング、プロジェクトの実行までを、地域コーディネーターネットワーク機関がサポートするのは、地域団体の苦手な部分を支援できる意味で有効。

<結論>

①市×②プロボノ×③コーディネーターの組み合わせは、「協働まちづくり」の有効なモデルである。

その上で、今回のように、該当地域の社会福祉協議会や地域包括支援センターの職員がサポートで加わると、より強固なロールモデルとなると考えられる。社協・包括の職員は、普段から地域団体と連携して活動しており、地域団体・メンバーのことをよく知っている上に、関係構築をしているので強力な助っ人である。地域団体とコーディネーターの間で橋渡し役・翻訳の役割で入っていただくと、より活動がスムーズになることが分かった。また、今回は、Wifi 環境の整備や当日のオンライン会議の準備、会場の手配も手伝っていただいた。

社協・包括の職員が参加しない場合は、その分、コーディネーターと市の、より一層の現場理解力と調整力、現場に赴いてのサポートが必要となってくるだろう。

(2) まちづくりにおける「プロボノ協働」の有効性

2つの地域で「協働まちづくり」のプロジェクトを実施した結果、プロボノと協働することは、特に下記の点で有効である。

<有効な点>

- ①ノウハウ・経験のある社会人を受け入れることで、これまでやりたくても人手・ノウハウ不足でできなかったことができる。
- ②やりたいことの実行スピードが上がる。
- ③今後の活動に必要な資料、ツール（広報ツール、アンケート、企画・事例集 等）が手に入る。
- ④新しく外部の人が入ることで、メンバーや活動が活性化する。
- ⑤外部からの視点や意見を取り入れることで、内輪では気付かない気づきや視点を得られる。
- ⑥プロボノと協働するプロセスを通じ、組織・運営体制を強化できる。
（新しく人が来て頑張ってくれているのだから、受け皿としてしっかりしないと、という心理が働く）
- ⑦プロボノとの協働やミーティングの実施方法から、新しい手法を学べる（ノウハウ移転）。
- ⑧若い世代に、町内会活動やその重要性について知って貰える。
また、プロジェクト終了後も引き続き関わってくれる人を獲得できる可能性がある。

（3）横展開の可能性

下記の条件を備える地域団体であれば、横展開が可能であると考えられる。

- ①プロジェクトに、地域のリーダー、役員の方が参加できる。

【理由】

- ・プロボノにとって、地域のリーダーとの協働は魅力的であり、人が集まりやすくなる。
- ・地域団体の今後の活動に大きく関わるため、役員の方のコミットが必要。
- ・意思決定のスピードが上がり、プロジェクトが進みやすくなる。
- ・実行するにあたって、役員理解・合意があると進みやすくなる。

- ②地域団体にある程度まとまりがあり、意思決定がスムーズである。

【理由】

- ・プロボノとの協働プロジェクトは、意思決定は地域団体が行わないと進んでいかない。
- ・プロボノがいくら頑張っても意思決定でストップしては、貴重な時間を割いて参加してくれているプロボノに報いることができない。

- ③プロボノが、最初は、地域や町内会活動のことをよく分かっていなくても大目に見られる。

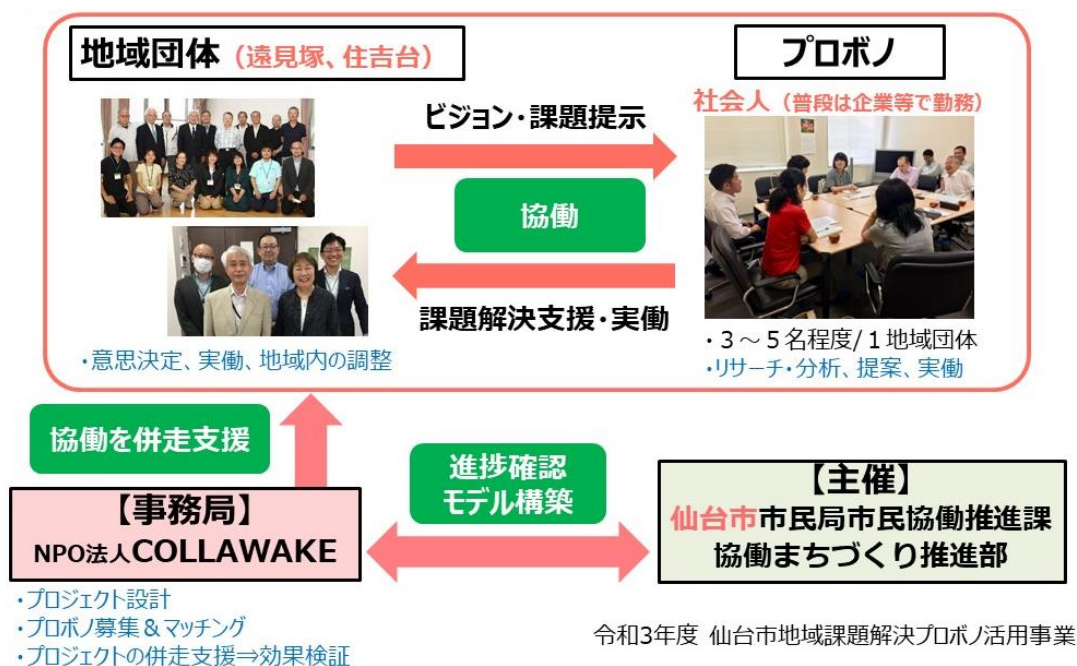
【理由】

- ・プロボノは若者・中年が多く、町内会のことをよく知らない人がほとんどである。
また、よく知らないのはお互い様である。
- ・市やコーディネーターが事前に説明しても、実際に現地の方と会って交流しないと腹落ちしない。
- ・活動する中で理解して動いてくれるので、最初はよく知らなくても大丈夫。

(4) ロールモデルの提案

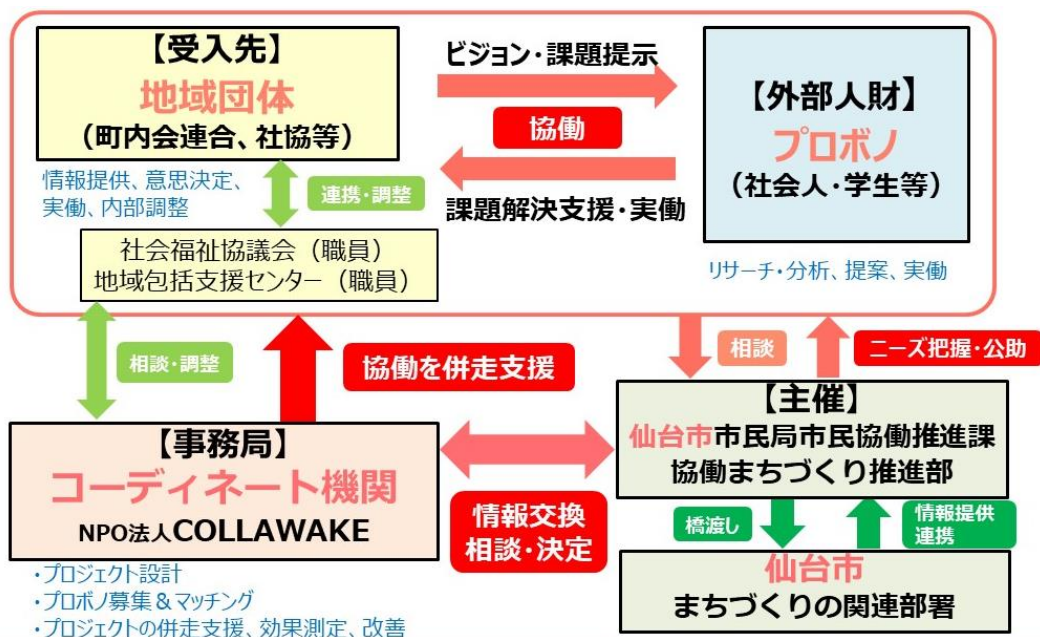
当初、運営体制のモデル図を描いてプロジェクトに臨んだが、終了してみでの改善案を提示する。この方が、「協働まちづくり」の実情や地域のニーズにも合っており、プロジェクトを円滑に進めやすくできると共に、プロジェクト終了後の、自治体と地域団体でのまちづくりがよりやりやすいと考える。

【ビフォー】（当初のモデル図）



【アフター】（気づきをふまえて改訂したモデル図）

特に、計画を実行するタイミングでは、この運営体制が望ましいのではないかと。



參考資料



地域の方々と一緒に、まちの課題解決に取り組むプロボノ（※）を募集します！

※プロボノとは？：職業上のスキルや専門知識、経験を活かしてボランティア活動に取り組む人



協働まちづくり

【対象】 社会人、学生、セカンドライフ・育休中の方 等 ※居住地どこでもOK！

仙台市・地域課題解決 プロボノ募集中のプロジェクト！（2つ）

プロジェクト名	<p>A. 誰もが住みやすい、安心安全のまちづくりプロジェクト！ ～コミュニティ活性化のプランづくり、集客力を上げよう～</p>	<p>B. 高齢化もなんのその。笑顔あふれるまちづくりプロジェクト！ ～多世代のニーズを知り、持続可能な実行プランを考えよう～</p>
受入団体	<p>回体名：南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック（遠見塚） 静かな住宅地で、遠見塚古墳、桜並木が自慢です！サロン活動を中心に、地域福祉に力を入れています。 課題 コロナ禍で停滞したサロン活動の活性化、新たな参加者・子育て層の巻き込み、広報PR強化</p>	<p>回体名：住吉台地区社会福祉協議会 団地が中心で、里山・田圃の自然に恵まれた地域です！多世代での「ふるさと」創りに力を入れています。 課題 更なる高齢化に備えた地域住民の不安・ニーズの明確化、地域力の強化のための実行プランニング</p>
プロジェクト内容	<p>【テーマ】安心安全なまちづくりに向けた持続可能なしくみ・人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サロン活動や運営体制など、運営全般を見直し、再計画⇒実行へ ● 新たな参加者・子育て世代等も巻き込めるよう、広報PRを強化等 	<p>【テーマ】今後の超高齢社会に備えた、笑顔あふれるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アンケート設計・調査（生活、将来の不安、ニーズ）⇒分析⇒発信 ● ニーズを叶え、笑顔あふれるまちづくりに向けた、実行プランの企画等
こんな方求む！	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 広報PRの経験がある方、集客アイデアを出すのが得意な方 ☑ 継続性に優れたイベント・レクリエーション企画の経験がある方 ☑ ポジティブで、地域住民の気持ちに寄り添ってくださる方 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 地域団体・住民が主体となったまちづくりに興味のある方 ☑ アンケート調査・分析の経験者、ニーズの実行プランを考えたい方 ☑ 地域住民に寄り添ってくださる方、前向きで朗らかな方
やりがい	<ul style="list-style-type: none"> ★ コミュニティづくり・広報強化を通じて、地域福祉の強化に携われる ★ 町内会、社協、地域包括センター等、多様な地域メンバーと協働しながら、顔の見えるまちづくり・地域活性化を経験できる 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 更なる高齢化が進むまちで、笑顔が見える地域づくりに貢献できる ★ 結束の強い地域で、少数チームでアンケートの調査設計から携われる ★ 町内会、社協、地域包括センター等、志高い地域団体と協働できる

安心して暮らせるまちづくりにトライしませんか？
興味のある方は、まずはオンライン説明会に参加ください。

申込方法

右のフォームより説明会の前日までにお申し込みください



説明会 (Zoom)
8月6日 (金)、12日 (木)
いずれも19時～20時半
※どちらかに参加ください

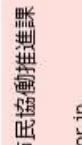
プロボノ
申し込み

- プロジェクト期間 2021年8月下旬～2022年1月 (約5ヶ月)
- 活動場所 オンライン会議 (Zoom) と対面 (場所：地域の市民センター等) を併用 ※遠隔から参加OK！
- 活動頻度 時間帯 【ミーティング】月2、3回 (1回1.5～2時間) @対面+Zoom 【時間帯】平日夜、土日 (メンバーの都合が合いやすい日時) 【個別ワーク】できる分だけ 例) 1時間～/週
- 募集人数 1プロジェクトにつき3～7名程度
- 併走サポート 特定非営利活動法人COLLAWAKE (コラウェイク)
※プロボノ経験がない方も安心して参加いただけます

本事業は、令和3年度 仙台市地域課題解決プロボノ活用事業として実施するものです ● 主催：仙台市 担当課：市民局市民協働推進課

● 事務局：特定非営利活動法人COLLAWAKE (コラウェイク) 担当：築塚、先本、佐藤

〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区権分5 みやぎNPOプラザ Tel: 022-791-1036 Fax: 022-774-2825 E-mail: info@collawake.or.jp



【仙台市】地域課題解決プロボノ活用事業

説明会

2021年8月12日



特定非営利活動法人 コラウェイク

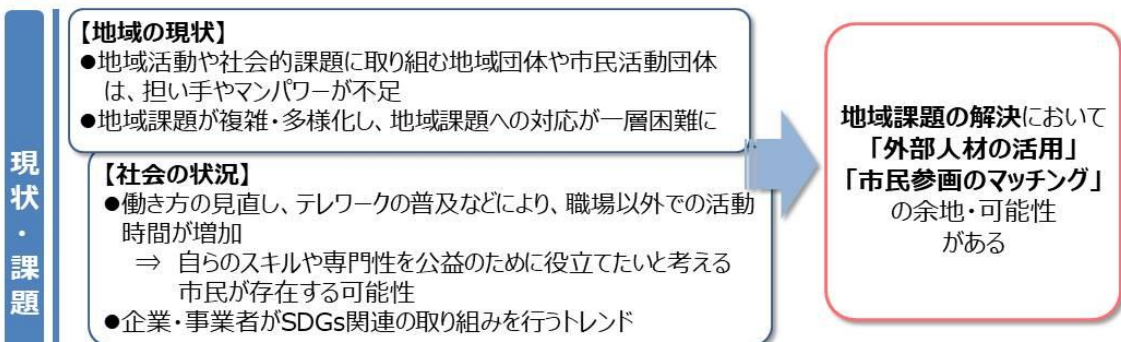
COLLAWAKE

Copyright 2021 NPO法人COLLAWAKE All Rights Reserved.

1

地域課題解決プロボノ活用 基本的な考え方

令和3年8月
仙台市市民協働推進課



課題

複雑・多様化する地域課題に対応するため、多様な主体の参画を促す仕組みの構築を行う必要がある

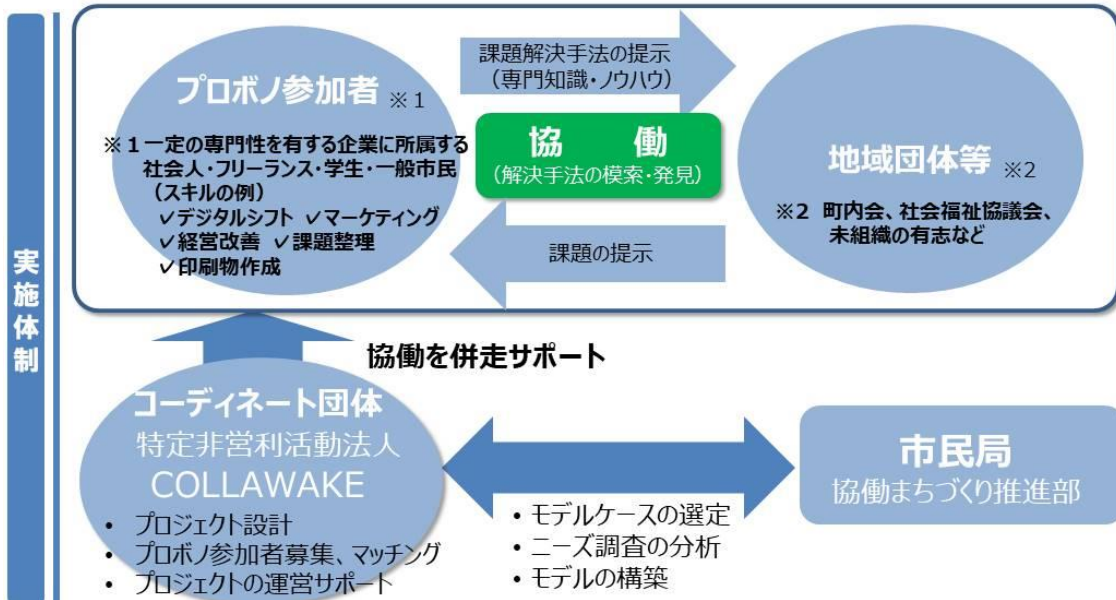
目的

地域課題解決のため、個人や企業による地域活動や社会貢献活動への参画を後押しするとともに、市民のノウハウやスキルを地域団体・市民活動団体の支援につなげる仕組みを構築し、多様な主体による協働を進める

Copyright 2021 NPO法人COLLAWAKE All Rights Reserved.

2

地域課題解決プロボノ活用 実施体制図



そもそも、プロボノとは？

- ラテン語で「**公共善のために**」を意味する「pro bono publico」の略
- 元々は、米英の弁護士などが**無報酬で行う、無料法律相談、無料弁護活動**などだった。
 現在も欧米を中心に、**弁護士の業界**において浸透。
- 範囲が広がり、「**職業を通じて培ったスキルや知識を提供する、社会貢献のボランティア活動**や、**そうした活動をする人自身**」のことを指すように。
- 欧米ではボランティア活動への参画が**キャリアアップの要件**となることもあり一般的な活動となっている。一方、日本では**認知度・参加人数**ともに**発展途上**だが、**働き方改革・副業解禁・SDGs**等で急速に伸びてきている ⇒ **社会貢献・キャリアアップ**のおススメ！

事務局：NPO法人COLLAWAKE（コラウェイク）



- ◎設立：2018年12月3日
- ◎代表理事：築瀬 裕子
- ◎理事：3名（代表含む）
- 監事：2名
- ◎正会員：12名

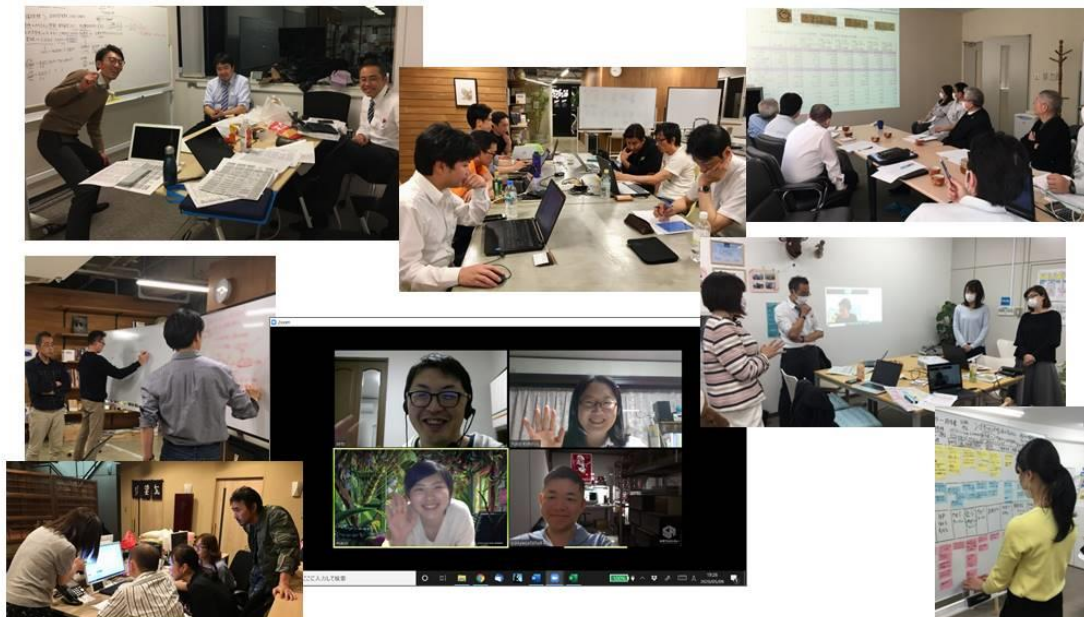


ビジョン（目指す社会）	ミッション
興味関心で自由に人が集まり、課題解決や新しいことが行われる社会	向上心のある人・組織が、社会貢献しながら成長し続けられるしくみをつくり、広める
事業	目的
①経営革新・創業支援 （プロボノ事業）	受入側と参加側の双方が、協働を通じて成長できるプログラムの開発、実施
②採用定着支援	組織発展のための、採用・共育・定着に貢献する
③ ①②に資する（連携）事業	①②を促進させる

Copyright 2021 NPO法人COLLAWAKE All Rights Reserved.

5

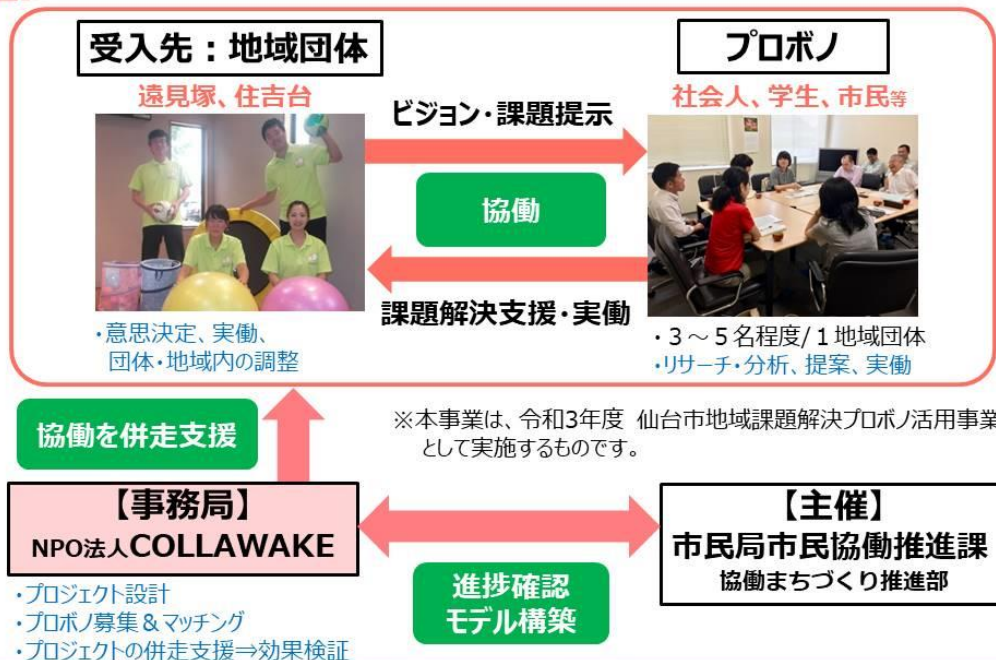
これまで、様々なプロボノ・プロジェクトを企画・実施



Copyright 2021 NPO法人COLLAWAKE All Rights Reserved.

6

協働まちづくりプロジェクト 全体図・役割分担



Copyright 2021 NPO法人COLLAWAKE All Rights Reserved.

7

受入先の地域団体 紹介 ★

★マークのページ：
地域団体のメンバーの方がお話し

みなみこいずみみなみ とおみづか
南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック (遠見塚)

【こんな地域です！】

- ・区役所、図書館、文化センター等の公共施設が整備された、仙台市若林区の中心地域



遠見塚古墳
出典) 仙台市教育センター

遠見塚古墳や桜並木が自慢です！

- ・南小泉地区町内連合会の第5ブロックに所属。まとまりのある地域です



子供たちを見守る桜並木
出典) 遠見塚小ブログ

Copyright 2021 NPO法人COLLAWAKE All Rights Reserved.

8

受入先の地域団体 紹介 ★

みなみこいずみみなみ とおみづか
南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック（遠見塚）



【こんな活動をしています！】

誰もが安心して暮らせるまちづくり、地域福祉の充実を目指し、シャンシャン（香香）体操サロン等を運営

- ・健康体操
- ・サロンの部（催しもの）

コロナ禍で休止中。復活したい！

遠見塚地域包括支援センターとも連携



Copyright 2021 NPO法人COLLAWAKE All Rights Reserved.

9

受入先の地域団体 紹介 ★

みなみこいずみみなみ とおみづか
南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック（遠見塚）

【こんな課題があります ⇒ プロジェクトへ】

- ・コロナ禍で停滞したサロン活動の活性化
- ・新たな参加者の獲得、そのための新企画
- ・イベント参加や運営での、
子育て世代の巻き込み
- ・そのための効果的な広報PR
- ・安心して暮らせる地域づくりための人づくり

ミーティングの様子



Copyright 2021 NPO法人COLLAWAKE All Rights Reserved.

10

プロジェクト内容 ★

みなみこいずみみなみ
南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック (とおみづか 遠見塚)



【プロジェクト名】

誰もが住みやすい、安心安全のまちづくりプロジェクト！
～コミュニティ活性化のプランをつくり、集客力を上げよう～

【テーマ】

安心安全なまちづくりに向けた持続可能なしくみ・人づくり

【主な取り組み】

- サロン活動や運営体制等、運営を見直し、再計画&実行
- 新たな参加者・子育て世代も巻き込めるよう、広報PRを強化 等

プロジェクトのやりがい ★

みなみこいずみみなみ
南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック (とおみづか 遠見塚)

【やりがい】

- ★ 地元住民の方が喜ぶサロン活動の企画・運営体制づくりに携われる
- ★ 広報PRを通じて、地域イベントの活性化に貢献できる
- ★ 町内会、社協、地域包括センター等、多様な地域メンバーと協働しながら、顔の見えるまちづくり・地域福祉の強化を経験できる

【こんな方はぜひ遠見塚チームへ！】

- ☑ まちづくりや地域活性化の活動に参加したことのある方
- ☑ 広報PRの経験がある方、集客アイデアを出すのが得意な方
- ☑ 継続性に優れたイベント企画・実施の経験がある方
- ☑ 前向きで、地域住民の気持ちに寄り添ってくださる方

受入先の地域団体 紹介 ★

すみよしだい
住吉台地区社会福祉協議会

【こんな地域です！】

- ・戸建てが集まる、住吉台ニュータウン（団地）
を中心とする地域（仙台市泉区）
四季折々の自然の美しさが自慢です！
- ・介護施設も多く、「福祉の里」とも呼ばれます
- ・域内に小・中学校があり、子どもたちも参加
する、ふるさとづくりの活動も多く、助け合い・
結束の強さが特長です



景観が美しい地域
©住吉台小学校



グラウンド・ゴルフ
～子供たちと交流～

Copyright 2021 NPO法人COLLAWAKE All Rights Reserved.

13

受入先の地域団体 紹介 ★

すみよしだい
住吉台地区社会福祉協議会

【こんな活動をしています！】

居住者の相互親睦や、福祉の増進など、
より良い居住環境をつくる多様な地域活動

- ・ふるさと夏まつり（子供～高齢者）
- ・サロン活動（福祉）
- ・オオムラサキの舞うふる里づくり
- ・小・中学校との交流
（防災・交通・福祉・スポーツ）



根白石地域包括支援センターとも連携



Copyright 2021 NPO法人COLLAWAKE All Rights Reserved.

14

受入先の地域団体 紹介 ★

すみよしだい
住吉台地区社会福祉協議会

【こんな課題があります ⇒ プロジェクトへ】

- ・公共交通が限られ自家用車がないと不便
免許返納した後どうするの？
→高齢者の足の確保
- ・世代でも変わる、不安・困りごとが不明確
→全ての人が笑顔で暮らせる地域づくりの
ためのニーズ把握と施策づくり

ミーティングの様子



プロジェクト内容 ★

すみよしだい
住吉台地区社会福祉協議会



【プロジェクト名】

高齢化もなんのその。笑顔あふれるまちづくりプロジェクト！
～多世代のニーズを知り、持続可能な実行プランを考えよう～

【テーマ】

今後の超高齢社会に備えた、笑顔あふれるまちづくり

【主な取り組み】

- アンケート設計・調査（生活、将来の不安・ニーズ）⇒ 分析 ⇒ 発信
- ニーズを叶え、笑顔あふれるまちづくりに向けた、実行プランの企画 等

プロジェクトのやりがい★

すみよしだい
住吉台地区社会福祉協議会

【やりがい】

- ★更なる高齢化が進むまちで、笑顔が見える地域づくりに貢献できる
- ★結束の強い地域で、少数チームでアンケートの設計から携われる
- ★アンケートだけでなく、ニーズを叶える施策まで考えることができる
- ★町内会、社協、地域包括センター等、志高い地域団体と協働できる

【こんな方はぜひ住吉台チームへ！】

- ☑ 地域団体・住民が主体となったまちづくりに興味のある方
- ☑ アンケート調査・分析の経験者、ニーズの実行プランを考えたい方
- ☑ 超高齢社会をむかえる地域のまちづくりにチャレンジしたい方
- ☑ 地域住民に寄り添ってくださる方、前向きで朗らかな方

Copyright 2021 NPO法人COLLAWAKE All Rights Reserved.

17

プロボノ活動 概要

活動期間	活動場所	頻度・ボリューム※目安
・本活動4ヵ月＋ 振り返り1ヵ月 ⇒約5ヵ月 ・8月下旬～来年1月	・ミーティング：Zoom ・個別ワーク：自由 ・仙台・宮城在住の方： 現地集合を大歓迎！ ☆遠隔参加可なので、 居住地は問いません ☆現地組とリモート組で 最適な役割分担を 見出すことも今回の ミッション	・ミーティング@Zoom：月2、3回 （1回1.5～2時間） ・個別ワーク：2時間～/週 （個人の意思に拠る。主体性求む） ・時間帯：平日夜や土日 ※メンバーの都合が合いやすい日時で調整 ☆ミーティングは、参加できない時があるのは可。 不参加が続くのはNG（メンバーシップ） ☆繁忙期等、個別ワークを引き受けられない 時があるのはOK。続くのはNG。 ☆主体性、公平性を配慮ください。

受入側の地域団体

それぞれの地域の、
・社会福祉協議会
・町内会
・地域包括支援センター

プロボノに必要なこと

- ・期限や約束を守る
- ・前向きな意見を言い、仲間を励ます
- ・個別ワークを自主的に引き受ける
- ・報連相がスムーズ

NGとさせていただくこと

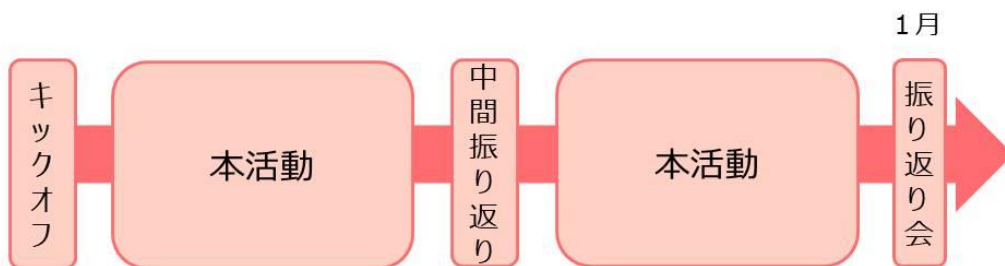
- ・意見や質問ばかりで自分は動かない
- ・ネガティブな意見が多い、また、人を非難する
- ・引き受けたワークをしない等、約束を守らない
- ・礼儀・社会常識がない、その他迷惑行為

Copyright 2021 NPO法人COLLAWAKE All Rights Reserved.

18

活動開始後の流れ

- 1) 最初に、キックオフ（オリエンテーション＆ルール確認）があります。
- 2) 本活動に入ります。
☆ 受入地域の方々のために、同じ目標を目指して活動
- 3) 必要に応じ、中間振り返りを実施し、後半の本活動に進みます。
- 4) 終了後（2022年1月）、振り返りを行い、結果の評価とネクストステップ方向性出しを行い、修了となります。



Copyright 2021 NPO法人COLLAWAKE All Rights Reserved.

19



地域の方々と一緒に、まちの課題解決に取り組む**プロボノ**（※）を募集します！

※**プロボノ**とは？：職業上のスキルや専門知識、経験を活かしてボランティア活動に取り組む人



【対象】 社会人、学生、セカンドライフ・育児中の方 等 ※居住地どこでもOK！

協働まちづくり

仙台市・地域課題解決 プロボノ募集中のプロジェクト！（2つ）

プロジェクト名	A. 誰もが住みやすい、安心安全のまちづくりプロジェクト！ ～コミュニティ活性化のプランをつくり、集客力を上げよう～	B. 高齢化もなんのその。笑顔あふれるまちづくりプロジェクト！ ～多世代のニーズを知り、持続可能な実行プランを考えよう～
受入団体	<p>みらいすずみのみなみ 団体名：南小泉南地区社会福祉協議会・第5ブロック（遠見塚）</p> <p>静かな住宅地で、遠見塚古墳、桜並木が自慢です！ サロン活動を中心に、地域福祉に力を入れています。</p> <p>課題 コロナ禍で停滞したサロン活動の活性化、 新たな参加者・子育て層の巻き込み、広報PR強化</p>	<p>すみよし 団体名：住吉台地区社会福祉協議会</p> <p>団地が中心で、里山・田園の自然に恵まれた地域です！ 多世代での「ふるさと」創りに力を入れています。</p> <p>課題 更なる高齢化に備えた地域住民の不安・ニーズの 明確化、地域力の強化のための実行プランニング</p>
プロジェクト内容	<p>【テーマ】安心安全なまちづくりに向けた持続可能なしくみ・人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サロン活動や運営体制など、運営全般を見直し、再計画⇒実行へ ● 新たな参加者・子育て世代等も巻き込めるよう、広報PRを強化等 	<p>【テーマ】今後の超高齢社会に備えた、笑顔あふれるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アンケート設計・調査（生活、将来の不安・ニーズ）⇒分析⇒発信 ● ニーズを叶え、笑顔あふれるまちづくりに向けた、実行プランの企画等
こんな方求む！	<ul style="list-style-type: none"> □ 広報PRの経験がある方、集客アイデアを出すのが得意な方 □ 継続性に優れたイベント・レクリエーション企画の経験がある方 □ ポジティブで、地域住民の気持ちに寄り添ってくださる方 	<ul style="list-style-type: none"> □ 地域団体・住民が主体となったまちづくりに興味のある方 □ アンケート調査・分析の経験者、ニーズの実行プランを考えたい方 □ 地域住民に寄り添ってくださる方、前向きで朗らかな方
やりがい	<ul style="list-style-type: none"> ★ コミュニティブリ・広報強化を通じて、地域福祉の強化に携われる ★ 町内会、社協、地域包括センター等、多様な地域メンバーと協働しながら、顔の見えるまちづくり・地域活性化を経験できる 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 更なる高齢化が進むまちで、笑顔が見える地域づくりに貢献できる ★ 結束の強い地域で、少数チームでアンケートの調査設計から携われる ★ 町内会、社協、地域包括センター等、志高い地域団体と協働できる

- プロジェクト期間 2021年8月下旬～2022年1月（約5ヶ月）
- 活動場所 オンライン会議（Zoom）と対面（場所：地域の市民センター等）を併用 ※遠隔から参加OK！
- 活動頻度 【ミーティング】月2、3回（1回1.5～2時間）@対面+Zoom
- 活動頻度 時間帯 【時間帯】平日夜、土日（メンバーの都合が合いやすい日時）【個別ワーク】できる分だけ 例）1時間～/週
- 募集人数 1プロジェクトにつき3～7名程度
- 併走サポート 特定非営利活動法人COLLAWAKE（コラウェイク）※プロボノ経験がない方も安心して参加いただけます

安心して暮らせるまちづくりにトライしませんか？

興味のある方は、まずはオンライン説明会に参加ください。

＝流れ＝

申し込み

右のフォームより説明会の前日までにお申し込みください



説明会（Zoom）

8月6日（金）、12日（木）
いずれも19時～20時半
※どちらかに参加ください

プロボノ申し込み

本事業は、令和3年度 仙台市地域課題解決プロボノ活用事業として実施するものです ●主催：仙台市 担当課：市民局市民協働推進課

●事務局：特定非営利活動法人COLLAWAKE（コラウェイク） 担当：築瀬、先本、佐藤

〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区権合5 みやぎNPOプラザ Tel: 022-791-1036 Fax: 022-774-2825 E-mail: info@collawake.or.jp

